



# 江南小だより

八戸市立江南小学校 学校だより  
令和5年8月31日発行  
通算第549号

## 26.9% (約4人に1人)

校長 笹川 力

夏休みが終わり、学校に主役が戻ってきました。夏休み中と同じ建物なのに、子どもたちが居るだけで全く校舎の雰囲気が変わります。夏休み中、子どもたちに大きなけがや事故がなかったことに心より感謝申し上げます。

さて、タイトルにある数字は何でしょう。正解は18歳に行なったアンケートで「自分の行動で国や社会を変えられると思う」と答えた人の割合です。これは日本財団が2022年に6か国の18歳、各国1,000人に行ったアンケートの結果です。他の質問項目についても他の国の結果とあわせて紹介します。

### 【自分と社会の関わりについて】

Q 以下の項目に同意しますか ※「はい」回答率を掲載

各国 n=1000 (単位%)	自分は大人だと思 う	自分は責任ある 社会の一員だと思 う	自分の行動で、 国や社会を変え られると思う	国や社会に役立 つことをしたい と思う	慈善活動のため に寄付をしたい	ボランティア活 動に参加したい
日本	27.36位	48.46位	26.96位	61.76位	36.26位	49.76位
アメリカ	85.7	77.1	58.5	73.0	66.7	70.4
イギリス	85.91位	79.9	50.6	71.2	69.5	64.2
中国	71.0	77.1	70.9	82.1	78.9	85.31位
韓国	46.7	65.7	61.5	75.2	62.4	70.7
インド	83.7	82.81位	78.91位	92.61位	83.71位	78.1

いかがでしょうか。日本は6つの質問全てで最下位の6位です。ちなみに、5位は韓国が3項目、イギリスも3項目です。しかし、どの項目についても5位との差が大きく開いています。その背景には社会制度の違いや国民性の違いもあるのでしょうか。産業構造や経済状況と子どもの社会認識の関連も多く指摘されています。だとしても、これは捨ておけない結果です。

大々的なアンケートではないのですが、まずは、この結果を受け止め、われわれ大人が頭の片隅に置いておくだけでも、目の前にいる子供の18歳時点の結果は違ってくると思います。そして、学校教育と家庭教育の両方で将来のあるべき姿のイメージを共有していく必要があります。

社会との関係を前向きにとらえられる人間に育てていくために、小学生にはまず次の3つを機会あるごとに教えていけばいいのかなと思います。

- 1 「社会」とは、自分と直接関わる身近なものだと知る。
- 2 自分が誰かのためにできる、ささやかな一歩を踏み出す。

そのために(1)うまくいかないことを誰かのせいにならない。

(2) 誰かを頼る。

